



本会は、鎌倉中央公園の貴重な谷戸景観と多彩な動植物を保全するため、市民活動を実践していたメンバーが中心となり、行政との協働で立ち上げたものです。

# 収穫まで、あと一息

雨が全く降らなかつたり、ずっと降り続いたりと、天候不順な夏でしたが、谷戸の作物も草花もみごとに実ってきました。大雨被害の各地の方々には申し訳ないけれど、このまま台風に見舞われなければと祈るばかりです。

## 谷戸往来

### 鎌倉高校ボランティア 活動受け入れ

7/30(日)、8/6(日)

小学生のときに谷戸の体験学習で田んぼ作業をした生徒たち、高校生になって大人顔負けの作業量にこちらも力が湧く思いでした。

### 夏の勉強会

8/2(水)、6(日)、10(日)

道具の種類と使い方について、事務局員の道具管理担当者を中心に、勉強会を行いました。道具を扱う心構えから安全管理まで、幅広く学びました。多くの会員が参加し、定期的開催してほしいとの声が寄せられました。

「第7回 かまくらあそび楽宿」(福島の被災した子どもたちの保養支援)が、7/28(金)～31(月)に開催されました。今年も当会より備品を貸し出し、お寺での生活・海での砂遊び・ランチなどに使われ、大変役立ったそうです。



(勉強会写真)



●湿地の手入れの考え方、今昔（20～30年前）

1. 従来からの定説

谷戸（里山）の湿地が大切にされるようになったのは、30年前の里山ブームで湿地が生きものの棲家として評価されたからです。当時は、湿地を田んぼに戻さなければ、アシなど湿地の植物に混じってツルやササが生えてきて、ヤブや林に変わっていくのが宿命であると説かれていました。とは言え、公園化された谷戸では全面的に田んぼを復活させることができません。従来の里山管理に湿地の位置づけはありませんが、湿地も大切なので管理方法を新たに考えるべきでしょう。今まで、市内の湿地の環境変化を観察した結果、実態は必ずしも定説通りではなさそうだと感じています。

2. 谷戸の湿地の実態

(1) 場所にもよるが、この30年、湿地の乾燥化（植物の変化）はほとんど感じられない。むしろ、湿地の日当たりが悪くなった（斜面の樹木が大きくなり湿地が日陰になる）ことが影響している。

(2) 乾燥化で湿地の植物が弱って減少したのではなく、ツル（クズ、フジ、カナムグラ）に覆われてしまっているのが実態。湿地は健在でもヤブのような風景になってしまう。

(3) 最初は、湿地の畔跡地や散策路など周辺の発生源からツルやササが侵入してくる。放任すると、湿地の内部にクズやフジが根を下ろしたり、カナムグラの種が落ちて発芽したりして、湿地が荒れてくる。

(4) 休耕田の名残で、湿地の内部に残された水たまりが埋まってきて、ヒキガエルなどが産卵しなくなっている。

(5) かつて田んぼだった頃は、ゆるやかな棚田のような地形で水がたまっていたが、田んぼをやめると畔が壊れて、湿地に水がたまらなくなってきた。

(6) セリをつみに人が入るようになると、湿地が踏まれて硬くなり、水が浸透しにくくなり乾燥化する場合もある。

実際の手入れ方法などについて次号以降書いてみたいと思います。

谷戸の体験学習

稲の回りに空気をふくませるのは難しいと思っていました。思ったとおりでした。またやりたいです。

(富士塚小5・田の草取り)

麦をとうみで回したら、もみながら、風に吹かれて出てきました。ハンドルを回していたら手が痛くなりました。種みたいなのがでてきました。楽しかったです。

(教育支援教室ひだまりK・K)



(富士塚小5・田の草取り)

バケツリレーでひりょうをはこんだのが楽しかったです。(小坂小3谷戸体験)



(深沢小5・田の草取り)

虫やクモがいっぱいいてちょっといやだったけど、トンボが湿地にある草などに卵をつけてそれが生まれて…のくりかえしがこの湿地でおこなわれると思うと、少し「やった」と思う。

(御成中1年・湿地復元)

稲に栄養がいくようにぎっそうを根からほりおこして、根についた泥を落とす作業と稲の周りを手でかいて、稲の根に空気を送る作業をしました。根についたどろを落とすのが気持ちよかったです。(深沢小5・田の草取り)

体験学習の予定

深沢小5年10/6、11/6  
 富士塚小5年10/5、10/31  
 御成中1年10/19  
 特別支援教室ひだまり  
 9/26、10/18、11/1

## 各班のお知らせ

### 田んぼ班



7月は暑い日差しの中、鎌倉レンジャーズや高校研修生の手助けをもらいながら、田の草取りに奮闘しました。空梅雨で日差しが強かったためか、高く育った稲の中に埋まりながらの作業でした。

### 雑木林管理班



今年もいつも通り大変だった雑草刈り作業も、いよいよラストスパートです。

9月になると、土手や通路脇の草刈りの他に、秋～冬の雑木林内の作業に備えた下草刈りを行います。

### 農芸班



屋内作業場の存在は心強く、不安定な天候でも思いっきりスタレやザルを広げて「梅干しの天日干し」ができました。「皮は柔らかく、しなやかに強く」発色もよい仕上がりにになりました。

### 自然遊び班



子ども里山体験・子どもの感想から「すごく物知りになった気持ちです。ここまで自然を感じたのは、はじめてです(小6)夜の散歩では少し怖かったけれど、いろいろな昆虫が見れました(小4)」

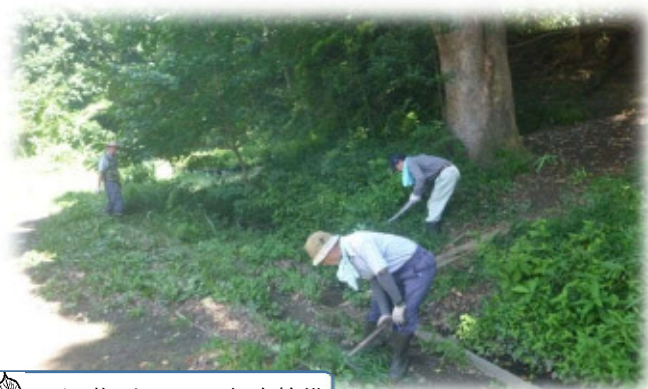



 カラスアゲハ

### 畑班



8月の長雨で草取り・土寄せの作業が進まない上に日照不足も加わり、作物の実りが今一つです。9月～10月は、ねぎ類・大麦・小麦・冬菜などの種蒔きの準備、さつまいも掘りの作業となります。




 8/6 草刈りして水路整備

### 生態系保全班



この時期、花は少なく、クサギの花にチョウなどが集まります。毎年、たくさんの昆虫が集まるクサギが枯れてしまい残念です。しかし、周辺には若木が育っています。成長を楽しみにしています。



 8/20 子ども里山体験

### 植物育成班



土手に野草があります。他の草と見分けるのは難しいですが、何度も観察すると見分けができるようになります。花を楽しみに、カナムグラやクズなどに負けないよう、土手の手入れをしています。

9月

- 2日 (土) 生 秋の虫の音 ♣  
保育士研修講座
- 3日 (日) 田 ネット張り  
畑 ねぎの苗床作り・草取り  
雑 アズマネザサの除去 ♣
- 6日 (水) 生 バッタやコオロギの調査  
農 草木染め ♣
- 10日 (日) 田 すがい作り ☆  
畑 ねぎ・たまねぎの種蒔き ♣  
雑 刈払い機で草刈り  
自 こども里山一日体験「草木染め」▶  
かまくらレンジャーズ
- 16日 (土) 田 はさ作り (小段谷戸)
- 17日 (日) 田 はさ作り (田んぼ横) ☆  
畑 らっきょうの植え付け  
雑 稲刈り前の草刈り
- 20日 (水) 植 秋の野草の調査
- 24日 (日) 田 はさ作り (広場)  
畑 かぶ・冬菜の種蒔き  
雑 稲刈り前の草刈り ☆  
植 湿地の花畑を見る ♣

試食の日

10月

- 1日 (日) 畑 こんにゃく芋掘り ♣  
雑 雑木林の下草刈り ☆
- 7日 (土) 田 稲刈り ☆  
生 秋の虫の音 ♣
- 8日 (日) 田 稲刈り ♣  
畑 畑の整備
- 9日 (月) 田 稲刈り
- 11日 (水) 生 秋のチョウの調査  
農 小麦の選別・製粉 ♣
- 15日 (日) 田 稲刈り  
畑 さつまいも掘り・種芋の選別 ☆
- 22日 (日) 田 田んぼ周りの片付け・溝切り  
畑 大麦・さやえんどうの種蒔き  
雑 雑木林の下草刈り ♣  
生 モズを探そう ♣

試食の日

- 28日 (土) 田 脱穀
- 29日 (日) 田 脱穀 ☆  
畑 小麦の種蒔き・たまねぎの移植 ♣  
雑 雑木林の下草刈り  
自 里山探検隊 「脱穀」  
かまくらレンジャーズ  
青空自主保育なかよし会保全活動  
鎌倉中央公園フェスティバル

11月

- 1日 (水) 生 カヤネズミの巣の調査
- 3日 (金) 田 粃干し・はさ片付け
- 5日 (日) 田 粃干し・溝切り・畔土寄せ  
畑 たのくろ豆の収穫 ☆  
雑 雑木林を歩いて調査 ♣
- 8日 (水) かまくらママ's カレッジ  
「サトイモとどろんこ」
- 11日 (土) 田 粃すり・精米・わら切り
- 12日 (日) 田 粃すり・精米・わら切り ♣  
畑 さつまいも洞入れ  
雑 雑木林の除間伐  
自 父と子の里山体験  
「つるブランコ作り」
- 19日 (日) 田 粃すり・精米・わら切り  
畑 さといも掘り・洞入れ ♣  
雑 雑木林の除間伐 ♣  
青空自主保育にここ会保全活動
- 22日 (水) 農 たのくろ豆穀出し・選別 ♣  
植 紅葉の観察

26日 (日) 秋の谷戸まつり 10~14時

29日 (水) 東京シニア自然大学



〒247-0066 鎌倉市山崎 1667 鎌倉中央公園管理事務所内  
TEL/FAX 0467-47-1164 木曜を除く 10時~16時  
ホームページ : <http://yato-yamasaki.sakura.ne.jp>  
Eメールアドレス : [ya-yato@arrow.ocn.ne.jp](mailto:ya-yato@arrow.ocn.ne.jp)  
● 次号 (会報81号) は、2017年9月に発行予定

田：田んぼ班                      畑：畑班  
雑：雑木林管理班                農：農芸班  
自：自然遊び班                    生：生態系保全班  
植：植物育成班

▶ 会員以外の方、参加費500円 ☆谷戸塾  
♣ 一日里山体験 (要予約)  
秋の虫の音 18時半~20時半、山崎口集合